

## 業績リスト(過去3年)

* (1. 著書	2. 論文)	3. 訳書	4. 研究ノート	5. 書評
6. 調査報告書	7. その他文筆活動	8. 作品発表	9. 学会発表	10. 講義・講演
11. テレビ・ラジオ等出演	12. 公的活動	13. 研究助成採択	14. その他	

\* (1. 著書 2. 論文)は別途掲載

**荒屋 昌弘** (あらや まさひろ) [心理学科 助教]

### 2023年

#### 9. 学会発表

- ・荒屋昌弘 (コーディネーター). 社会的養護経験者の視点から自立について考える. 全国児童養護問題研究会全国大会第50周年記念大阪大会. ドーンセンター. 2023年6月24~25日

#### 10. 講義・講演

- ・荒屋昌弘. 児童福祉施設において生かされる心理の専門性. 2022年度第2回北摂合同研修会 北摂児童施設連盟. 大阪保育福祉専門学校. 2023年2月1日
- ・荒屋昌弘. 虐待と心理的ケア. 第59回電話相談ボランティア養成講座 社会福祉法人関西いのちの電話. 関西いのちの電話本部5階. 2023年11月2日
- ・荒屋昌弘. アタッチメントについて. 養育里親援助技術研修 社会福祉法人高鷲学園里親支援機関with里親. 児童養護施設高鷲学園. 2023年7月8日, 12月3日

#### 13. 研究助成採択

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者 (含他所属)
谷向みつえ (関西福祉科学大学)	科学研究費 補助金 挑戦的研究 (萌芽)	社会的養護から進学した学生の自立を支援する 大学等高等教育機関の 役割	R4~6	25 (令和4年度 荒屋分担分)	畠中宗一 (関西福祉科学大学) 荒木敏宏 (関西福祉科学大学) 相谷登(関西福祉科学大学) <b>荒屋昌弘</b>
概 要 (薫英研究費・無)					
<p>本課題の意義は、社会的養護出身の学生が貧困や虐待の連鎖を断ち切り、将来に亘る安定的自立を目指せるように、大学が果たすべき教育支援の指針を構築することにある。本研究は、大学の支援に焦点を当て、施設出身学生への対応の現状を洗い出し、将来に繋がる教育支援のあり方を検討する。本課題により示される社会的養護出身学生への大学の教育支援のあり方は、誰一人取り残すことがない共生社会における大学のダイバーシティへの対応の指針作りに展開できると考える。</p>					

### 2022年

#### 10. 講義・講演

- ・荒屋昌弘. 虐待と心理的ケア. 第57回電話相談ボランティア養成講座 社会福祉法人関西いのちの電話. JEC 日本研修センター. 2022年1月20日
- ・荒屋昌弘. 虐待と心理的ケア. 第58回電話相談ボランティア養成講座 社会福祉法人関西いのちの電話. 関西いのちの電話本部5階. 2022年11月10日
- ・荒屋昌弘. アタッチメントについて. 養育里親援助技術研修. 社会福祉法人高鷲学園里親支援機関with里親. 児童養護施設高鷲学園. 2022年7月16日

## 2021年

### 9. 学会発表

- ・荒屋昌弘. 二次的トラウマティック・ストレスへの理解をめぐる可能性－ワーク・ディスカッションの実践－. 第13回日本児童養護施設実践学会. オンライン. 2021年2月27日

### 10. 講義・講演

- ・荒屋昌弘. 大津少年鑑別所 職員研修講師. 大津少年鑑別所. 2021年12月15日